



▲“大地の平和を願って…” 3年A組合唱
「IN TERRA PAX」

大きな舞台で力一杯

“届けよう心に響くメロディーを”をスローガンに1月28日、はなのき会館において中学校の合唱フェスティバルが行われ、父兄の皆さんなど集まった150人を超える聴衆を魅了しました。

はなのき会館で初めて合唱をした子どもたち、広い会場に圧倒されながらも日ごろの練習の成果を見事に披露しました。



3年学年合唱「若い翼は」

広報

1995 平成7年 2 No.404

ひがししらかわ

人口の動き

—1月末住民登録人口から—

| | |
|-----|--------|
| 世帯数 | 905 世帯 |
| 人口 | 3,384人 |
| 転入 | 4人 |
| 転出 | 6人 |
| 出生 | 1人 |
| 死亡 | 8人 |

先月と比較して9人減
 昨年同月と比較して
 64人減

ズバリ！村長さん、議長さんに「ニニ」が聞きたい



広報では、亥年生まれの六人の

皆さんにお集まりいただき、村の

取り組み方や、将来展望に関する

疑問を村長さん議長さんに聞いて

いただく座談会を行いました。

ここ数年いろいろな施設ができますが、その利用や維持についての考えは？

司会（嶋倉企画財政課長） 本日は、お忙しい中をお集まりいただきましてありがとうございます。今日の座談会は、皆さんが亥年生まれの代表者として、現在村で進めている各種事業や村の将来展望などについて、ふだん疑問に思っていることなどを村長さん、議長さんに直接聞いていただく企画です。どんなことでも結構ですから気楽な気持ちでご発言ください。
 正明さん 昨年は、待望の五加バイパスも完成し、またいろいろな施設ができて、確かに村に活気



安江房子さん (47)
 S22. 5. 4 生
 (大明神)



安江悦子さん (59)
 S10. 9.11 生
 (下親田)



今井正明さん (59)
 S10. 6.11 生
 (柏本)

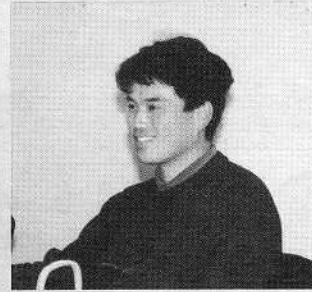
座談会出席者



今井愛子さん (23)
 S46. 7.23 生
 (大沢)



稲垣八穂子さん (35)
 S34. 6. 6 生
 (陰地)



古田雅彦さん (35)
 S34. 8. 4 生
 (平)



村助役 藤井茂樹



村長 桂川眞郷



村議会議員 古田眞之助

を感じますが、これからが大変になるという人もあるようですが……。

雅彦さん 例えば金山町では、温水プールやスポーツジムなど一か所にかたまって作られています。村の施設はあちこちに作られているので使いにくいのではないのでしょうか。また、施設を作るにあたって都会から来る人を対象にされているのか、村民の利用を中心にされているのか伺いたと思います。

八穂子さん 味の館の隣にできた瀬音公園へ近所のみんなで子どもを連れて行きましたが、公園の中ほどに池があつて危ないので小さな子どもを連れていくとゆっくりできないように思います。せつかくそばに白川が流れているのに池は、どうかと思います。

村長 公共施設については、建設費や今後の維持などを懸念される意見は直接にも伺っています。施設ができれば、もちろん経費はかかりますが、農村であっても都会と格差がないように、文化水準、生活水準を整備していくことは大切です。国でもいろいろ基準を設け、その基準にそって標準的な施設を作っていますし、国からそれらを維持するための援助もあります。今後水道や下水を本格的に着手するところとした施設は作れませんでした。また公園づくりも今後改めて検討したいと思えます。瀬音公園沿いは将来バイパスが通り、通行する人が休んだり、地元の人野菜等を販売したりする交流の場

として期待しています。

議長さん 施設などを作ることは大変なお金がかかります。村の場合は経済的に難しい面があると思いますが、そうした点を地方交付税などで補っていただいて建設や維持をしているわけです。維持や管理は大変ですが、皆さんが意識の中で、田舎にいても文化的にたんのうしているということであれば生きがいにもなると考えています。

助役 施設については、まとまっていることは理想だと思いますが、村の場合は地形的に問題があります。ある目的の施設はここに、また別の目的のものはあそこにあるという形を考えています。またはなのき会館などの利用は、何か催しがある場合、その催しを行う団体などが送迎のことも考えていくことが大切になります。交流については、村の定住人口を考えたとき、ものすごい勢いで減ってはいませんが減っていることは事実です。そこで都会からの交流人口を増やすことを考え経済的効果を期待しています。

房子さん はなのき会館などいろいろな施設も立派なものができ、中学校も新しくなるようですが、十分に整ってきたこうした施設をもっと有効に利用する機会があればと思います。

雅彦さん どこでもあるというものでなく、村民が自慢できる施設を作ることが大切だと思います。例えば若者に人気のあるマウンテンバイクのサーキット場を中川原に作るというのはど

うでしょう。

村長 各種施設を利用し、グループやサークルができたりすることが理想です。利用は、今後さらに検討していかなければなりません。はなのき会館では年五、六回くらい定期的に講演会など文化的行事を行いたいと思っています。また、特色といえば、白川は村の財産です。現在この白川を利用して全村公園化構想を進めています。

助役 新しく作る第三次総合計画では、さきほどのマウンテンバイク場や、オートキャンプ場といった施設を作り、若者がそれを運営するような形態が実現できればと考えています。中川原にできたコテージは、村が作って民間が運営するこのモデルケースです。またこもればの館は、年間七五％くらいの利用があります。

八穂子さん 今一番大切なことは、道路の整備だと思います。私の家の前でも工事が行われていますが、最初の計画とは変わってきたように思います。そのつど説明があればと思いますし、また今回の阪神大震災を思うと災害については考慮してあるのででしょうか。

村長 道路については、専門家でないとなかなかわからない部分があり、地元の人への説明もできるだけわかりやすくそのつど説明をしてみようという指導していますが、不十分な点はあったかもしれません。池の嶋付近は難所の一つで、災害を十分考慮にいれ県も一生懸命検討し実施しています。

△次ページにつづく▽

若者定住が 一番の課題

後継者不足が
一番の魅力
ある村づくりとは？

房子さん 子どもも年ごろになり、若者定住の環境づくりに頭を痛めます。婦人会という立場でいえば最近では下火になっており、青年団もそうです。そうした交流の場が減っているのではないのでしょうか。

悦子さん 今、近くで働かせてもらっています。そこにもお嫁さんが欲しいという方がみえますが、村には独身の方がまだたくさんいると聞きます。また、お子さんを村外に出している方に聞くと、村には働くところがないし、給料も安いということに戻りたがらないようです。

愛子さん 若い人たちの間には、自分自身の生活を大切に考える人が多いようです。また、昔は、いろいろなものが無くて、何とかしようと思えば頑張る、そこから団結が生まれてきたと思いますが、今は何でも整いすぎてそうした苦労がないと思います。

正明さん とにかく時代が変わってしまい、立派な道路もでき便利になったので若者に足が生えてしまったことが大きいと思います。

雅彦さん 以前商工会青年部で後

継者について話し合ったとき、その中に自分の子どもが家業を継がなくても構わないという人がいて、その理由を聞くと自分の仕事に将来性がないということでした。確かに将来四人に一人が高齢者となれば将来性がないと考えればそのとおりなのかもしれません。

村長 若者定住については、今後最大の課題です。七年度予算でも「若者定住対策事業」を掲げ、住宅や職場の問題、若者の交流の機会などに取り組んでいくつもりです。定住というのは何もここに住んでここで働くということではありません。交通事情が良くなっているのですから、ここに住んで村外で働くことも結構だと思います。また、結婚支援については同年代の人の結婚アドバイザーというものを設けたらどうかという提案もあります。

議長さん 世の中が裕福になって物質面は、確かに豊かになりましたが、心が豊かにならないと、だんだん離れていってしまいます。隣の人が大切、地域が大事という気持ちが大切ではないでしょうか。

助役 一つの考え方として、住宅をいくつか作る計画があります。例えば、独身者を対象にしたワンルームマンション的なものと、夫婦と子どもが入れるような少々規模の大きいものです。

村長 また、職場の面でいえば町で

は給料も高いですが、生活費もかかります。村内の企業や関係者の方に機会あるたびに、経営の合理化などに取り組んでもらう、従業員の給与改善をしてもらうようにお願いをしています。

愛子さん 聞いた話ですが、昨年は村に誕生した子が十数人だったそうです。子どもが多いことは村の活性化にもつながるのではないのでしょうか。

村長 全国的に見ると現代は、一夫婦に約一・四六人しか子どもがいまません。また、最近はお金さえあれば、結婚もしない、子どももいらぬという人が増え、生活様式も変わりました。近い将来の高齢者対策を考えるとき、そんな人ばかりが増えたらお年寄りの世話をするのでしようか。もちろん公の機関はできる限りのことをしますが限度があります。やはり最も大切なことは、結婚して子どもを生んでもらうことです。

八穂子さん 今度できる保健センターの二階は、母子センターになりますが、常勤の産婦人科医は来てもらえないのでしょうか。また、村では三歳児まで医療費が補助されていますが、子どもは小学生くらいになるまで健康には気を使います。保育料も高いですし、子どもを増やそうと考えてみえる家庭では負担になるのではないのでしょうか。

村長 お年寄りが大切なのと同様、将来のある子どもも大切です。母子セ



ンターは、これまでどおり下呂病院とのタイアップで行いますが、部屋はホテル並みの設備になります。乳幼児医療については、早くから取り組んでいますし、保育料も他の市町村と比べれば安くなっています。

これから地方の時代。
高齢化社会に向けての
意識の持ち方が大切

司会 若者定住と同様に村の抱える大きな問題に、高齢者の問題があります。裏を返せばつながっていく問題ですが、皆さんはいかがお考えですか。

正明さん せせらぎ荘はお年寄りに人気があるそうですし、建設されたことは意義があると思います。

村長 せせらぎ荘の取り組みは、県



民間で運営を行う宿泊施設「ふるさとビレッジ魚の宿」

下でも比較的早く、年間のべ三千人くらいの利用があります。利用は、介護を要する人を優先にして、丈夫な人は回数を少なくしています。経費は、一日お世話をするのに一人一万円程度かかりますが、そのうち千円を利用者に負担してもらい、残りを国からの補助と村が負担しています。また、丈夫な人については、これもれびの館でお世話をします。

助役 これれびの館でのお世話は、どちらかといえば、自分で楽しみを見つけて自分の考えでやってもらっています。せせらぎ荘は、職員九人でお世話をし、これもれびの館では、ふるさと企画の職員二人で行っています。食事もお風呂ももちろんありますし、利用料も同じ千円です。
村長 若者定住と関連しますが、

もう一つ考えなければならぬことは、独居世帯や高齢者の夫婦世帯が増えることです。こうした点を考慮し、平成八年完成を目指し、白川町と共同で白川町坂の東に特別養護老人ホームを建設します。また、病院も完全看護体制とし、付き添いなしでも入院を可能にします。もちろん家庭介護は基本です。から、こうした施設を利用しないで済めば理想ですが、そのためには若者定住は重要です。若者の住宅や職場についても検討していますので、今後は家庭でも子どもが就職する際には、将来親の面倒を見て欲しいという家庭内の教育をお願いしたいと思います。
雅彦さん 私はこの年になってやると行政のことに関心を持ち始めましたが、若い人には、誰かがやってくれるという考え方が強いようです。

議長さん 今の若い人は、高齢化社会に対する考え方、四人で一人のお年寄りを支えるという重みがあります。理解されていないという話があります。いわゆる年金制度や社会福祉制度がどういう仕組みで成り立っているかがわかっていないということです。最近では地方分権ということがいわれますが、これは、東京の極集中でなく権限を地方へ徐々に移していくことです。つまり地方のことは、地方でやる時代が来るのです。若者は、次の時代は自分たちが支えるという気持ちを持って政治や行政に目を向けることが大切になってきます。

自然環境を大切にし、白川を生かした魅力ある村づくりを！

司会 高齢者問題と若者定住問題以外のことで何でも結構ですから、疑問に思っていることがあればどうぞお尋ね下さい。

悦子さん 今、健康野菜が注目され、村内でも作ってみえますが、今後どのように考えてみるのでしょうか。

村長 今の時代は、農村に住む人もむしろ都会の人のほうが、安心して食べられるもの、ということが無農薬野菜が注目され、産地直送などが喜ばれています。村内でも生産者グループがあります。今後は支援していきたいと思えますし、皆さんも健康野菜に取り組んで欲しいと思います。

八穂子さん 白川は、村のシンボルだと思いますが、川を美しく保つことは一人ではできません。生活排水の重要性を感じるのですが。

村長 川を汚す原因は、さまざまですが、家庭からの雑排水、特に油が主因となります。今後、平や陰地の人口密集地から順に共同下水を計画し、また、これまでどおり合併浄化槽の設置に、一件あたり八十五万円くらいの補助金を出していきます。

助役 合併浄化槽は、年間十五〜二十基程度設置しています。希望者は、時間がかかることもありますが全員対応しています。

雅彦さん 私も東白川村といえば、白川とします。例えば、白川のおいしい水といった商標花はお考えですか。

村長 水の商品化については、以前データも取り、検討しましたが、資本化は難しいと思います。

正明さん 村の花づくりについて伺いたいと思いますが、例えば板取村には、「あじさいロード」という統一的に花づくりを進めているようですが、村ではどうでしょうか。

村長 現在、観光協会が花木を中心として、村の木であるハナノキを全村に植える長期計画をしています。白川街道沿いに植え、今の美しい白川の姿を残していけば、ハナノキの見ごろには白川とマッチして素晴らしい景観になると思っています。

正明さん 施設に関連しますが、維持を考えて村民税率が上がるといいうようなことはありませんか。

村長 税率は国で決まっていますので、むやみに変えることはできません。村で決められるものに国民健康保険料があります。これについては、他市町村より安いぐらいです。

司会 本日は、いろいろな方面から疑問を出していただきありがとうございます。今後は、もっとこういう機会を増やしていきたいと思えます。長時間にわたりご苦労さまでした。

成人おめでとう

平成7年1月15日

東白川村



輝いていきます！新成人

五十三人が大人の仲間入り

暖かく穏やかな一日となった、一月十五日、次代を担う若者たちをお祝いする「東白川村成人式」がはなのき会館において行われ、新成人の皆さん男二十七人、女二十三人、合計五十人が参加しました。
今年成人式の対象となった人は、昭和四十九年四月二日から五十年四月一日までに生まれ、平成元年度の東白川中学校卒業生となる五十三人。若さと情熱を、新しい時代に思う存分発揮して欲しいものです。

◎今年めでたく、大人の仲間入りをした新成人は、次の皆さんです。

(一) 内は、世帯主〓敬称略

☆印は、村内在住者〓九人

【平】桂川亮(眞弘)・田口大助(洋児)・安江剛郎(作郎)・吉村隆浩(隆男)・服田昌子(弘道)・安江未緒(建夫)・安江里佳(謙次郎)

【下親田】安江延之(里巳)・若山朋美(旧姓〓渡辺・昭彦)

【上親田】大坪寛明(兼行)・☆島倉康人(完)・安江亜伊子(康助)・安江玉紀(兼広)・安江愛美(光昭)

【中通】高井秀樹(吉男)・新田政直(久男)・☆村雲康乃(直樹)【神付】☆田口紳一(宗雄)・村雲一修(當正)

【中谷】安江昌弘(美好)【加舎尾】☆新田倫之(充)・藤井三弦(茂樹)・安江良浩(茂喜)・安江美奈(勇)

【西洞】安倍輝(徹)・安江啓志

(吉信)・☆小池さやか(勇)・安江仁美(正彦)

【曲坂】☆安江康二(洋次)・☆竹内美佳(敬郎)

【日向】桂川志乃(準子)【陰地】田口健次(眞信)・松岡弘樹(洋一)・安江和久(信一)・安江貴宏(密一)・大坪麻衣子(晴生)・☆安江美幸(敬吾)

【栃山】安江さつき(春幸)【黒淵】安江真由子(房好)・安江真弓(輝行)

【大明神】嶋倉伸貴(正允)・三尾満広(清行)・安江良康(竹良)・嶋倉美紀(捷司)・☆島倉理佳(功)

【栢本】今井寛之(克彦)・☆安江賢(正雄)・栗本久美子(忠一)

【大沢】今井誠人(保都)・今井仲江(和義)

【美濃加茂市】原千麻子(正人)【可児市】古田直美(武)

【愛知県】今井義治

新しい施設で気分新たに出発

たびだち

今年の成人式は、新しくなった点が二つあります。一つは、式典と午後からの演奏会の会場がはなのき会館大ホールとなったこと。もう一つは、記念会食の会場がはなのき別館で行われたことです。

十時三十分からの式典では、新成人を代表して村内在住の安江康二さん(曲坂)が、誓いのことばを力強くのべたほか、村から記念品としてアルバムが、婦人会からはテレホンカードが新成人に手渡されました。

村内在住者が九人ということもあって、昨年六月にオープンしたはなのき会館へ入るのは、これが初めてという人がほとんど。"ふるさとにも立派な施設ができたものだ"とその

感激ぶりもひとしお。

式典が終了して、ホールでの記念撮影のころには、緊張して少々こわばっていた表情にも笑顔が見え始め、はなのき会館での記念会食の時間は、久しぶりに会う同級生たちとの会話で和やかな雰囲気になりました。

昼食会場となったはなのき別館は、竣工式前ですが、この日は新成人の門出ということで特別に使用。結婚式の披露宴はもとより、各種パーティなど多目的に利用できる施設となりました。

午後からは、恒例となった幸協直人とフラウト・ダ・モレーによるフルート・ピアノ・チェロの演奏会が行われましたが、このグループの中の北村貴子さんは今年新成人。本人の希望もあって東白川村の式典に参加しました。

新成人の皆さんは、新しい施設で、美しい調べに耳を傾け、大人としての自覚を新たにしていたようです。



会話がはずんだ記念会食

新成人にひとこと



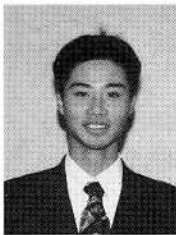
桂川 亮さん
(松江市・平)
まだ、学生なので大人になった実感がわきません。



安江真由子さん
(各務原市・黒淵)
自分の意志で頑張りたいと思います。



安江 仁美さん
(京都市・西洞)
人生に責任をもって、後悔しないよう行動したい。



安江 康二さん
(曲坂)
今日から社会の一員になったんだという気持ちです。



今井 義治さん
(美濃加茂市)
健康に気を付けながら、お酒もたばこも経験したい。

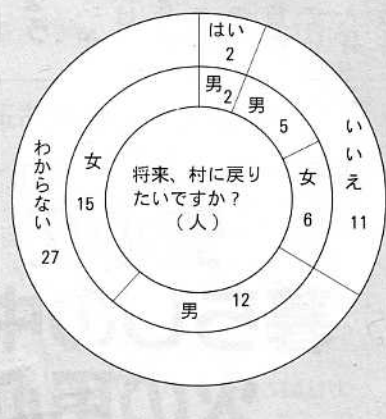


嶋倉 美紀さん
(名古屋市・大明神)
気分を新たに入れ替えて、社会人として頑張りたい。

新成人意識調査

広報では、成人式に参加した四十人の新成人を対象にアンケートを実施し、四十人から回答をいただきました。結果を紹介します。

まず、現在の住まいは、村内が八人、県内が十一人、県外が二十一人となり、また、現在の立場は、学生がその四割となる十六人でした。次に村の好感度については、左の



グラフのように約半数が"好き"と答えています。その理由で最も多かったのは、自然環境が良いというもの。逆に"嫌い"の理由は、不便であるというものでした。また、将来村に戻って住みたいか、の質問では、左のグラフのような結果となりました。七割近くが、まだ決めていないことがわかります。今後の村に必要なものとしては、スーパードなどが多数を占めました。

おしせ ら

こんにちは
社協です

来る三月七日、介護に関心のある人を対象にした「介護講座」を開催します。今回の講座の内容は、介護実習普及センター（岐阜市）を訪ね、展示ホールの見学を中心に介護の知識や機器の取り扱いなどを研修します。介護に関心のあるみなさん、どうぞお気軽にご参加下さい。詳細は、社協事務局まで。

国民年金前納

プレゼントについて

平成七年度分の国民年金保険料を前納し、応募された人の中から抽選で、国民年金保険センター「グリーンハイツ養老」のペア宿泊券（グリーンハイツ養老提供）を千人にプレゼントします。

【応募方法】官製はがきに、住所、氏名、生年月日、国民年金の記号番号、電話番号を記載し、応募下さい。

【応募先】☎五〇〇一七〇岐阜県民生部国民年金課内「前納プレゼント係」

【応募期限】平成七年五月三十一日(水)

【発 表】賞品の発送もってかえさせていただきます。※詳しくは、役場住民課（有線二一六二）まで。

困ったときは

相談して下さい

学校のこと、家庭のこと、友だちのことなどで、悩んでいる人、子どものしつけや教

育で悩んでいるお父さん、お母さん。こうした悩みを持つ皆さんの相談をお受けする相談機関を紹介します。いずれも専門の相談員が応じ、秘密は必ず守ります。一人で悩まず気軽に相談して下さい。

【いじめなんでも相談】

☎〇五八（二七四）〇〇一〇
【平日／午前八時三十分～午後五時十五分：いじめの悩み】

【子ども・家庭一〇番】

☎〇五八（二七六）四一五二
【平日／午前八時四十五分～午後九時、土曜／午前八時四十五分～午後九時：子どもとその家庭に関する悩み】

【ヤングテレホンコーナー】

☎〇五八（二七四）三〇〇〇
【平日／午前八時三十分～午後五時：いじめ、非行のほか青少年の悩み】

【教 育 相 談】

☎〇五八（二七六）七八三二
【平日／午前八時三十分～午後五時十五分：教育やしつけに関するいろいろな悩み】

【こころのダイヤル一〇九番】

☎〇五八（二七六）〇一一九

「平日／午前十時～午後四時
：心の健康づくりの相談」

※このほか最寄りの児童相談所、福祉事務所、教育事務所でも相談を受け付けています。

交通マナーを守り

交通事故を減らしましょう

加茂警察署管内で昨年一年間に起きた人身事故件数は、四五八件、これは、一昨年に比べ五人増の数字です。これらの交通事故により八人の人が尊い人命を亡くされ、負傷者も六百三十一人を数えています。また、村内では、人身事故件数が四件、物損事故件数が六十六件となっています。管内の人身事故の特徴は、

①交差点事故が多発

②朝夕のラッシュ時に多発

③国道で多発

④若年運転者の事故の増加

⑤安全運転義務違反が、事故原因のトップの五点です。

交通事故は、被害者になっても加害者になっても悲惨なもの。一人一人が交通マナーを高めるよう心掛けましょう。

春の全国火災予防運動

3月1～7日

安心の 暮らしの中心 火の用心



保健婦だより

☆効果的な

寝具の干し方 私たちは、眠っている一晩の間に、約コップ一杯分の汗をかきます。朝、起きたらすぐにふとんをたたまず、少しでも風を入れて汗を吸った寝具を乾かしましょう。また、晴れた日はふとん干しの絶好のチャンス。朝霧が消える午前十時から午後二時ころが最もふとん干しに適した時間帯です。途中で一度裏返すのがコツ。黒い布をかけることはよく効果的です。日陰でも風にあてるだけで寝心地がさわやかになります。

通信教育で

高校卒業資格を！

県立華陽高校では、次のように平成七年度の通信制生徒の募集を行います。

通信制教育とは、いろいろな事情で高校へ通学できない人のために、家庭で学習しながら添削指導や面接指導を受け、単位を取得すれば高校の卒業資格が得られる制度です。

■コース

①卒業コース

②一部履修コース

■入学資格と入学選抜

①中学校を卒業した人は、書類選考で入学が可能です。

②高校中退者は、前籍校で取得した単位を生かして編入学できます。

③高等小学校卒業者のように中学校を卒業していない人は簡単な試験等を行います。

■学費

・入学時に一年分、約二万円を納入。(教科書、学習書は原則として無償)

■出願期間

平成七年三月八日(水)

～四月六日(木)

※詳しくは、県立華陽高等学校通信制課程「☎〇五八(二五二)二二二」まで。

けいじばん

【戸籍】

(敬称略)

● 誕生おめでとうございます

(大沢) = 今井 幸泰 美咲 翼 (長男)

● おくやみ申し上げます

安江小よし 92歳 (下親田)
 安江 正郎 97歳 (上親田)
 大坪すゑの 85歳 (下親田)
 安江 正勝 68歳 (平)
 安倍 時夫 78歳 (西洞)
 松岡 清子 65歳 (陰地)
 安江とし江 67歳 (大明神)
 熊崎すゑ 95歳 (下野)

【善意】

(敬称略)

【保健センター施設整備指定寄付】

現金70万円 = 藤井茂樹

【社会福祉施設整備指定寄付】

現金5万円 = 熊崎喜十 (下野)

【社会福祉協議会へ】

現金9,289円 = 日向1.2.3班 (新年互例会より)

現金10万円 = 安江諄六 (大明神)

現金3万円 = 安江重利 (下親田)

現金10万円 = 安倍 徹 (西洞)

現金10万円 = 大坪久好 (下親田)

現金30万円 = 安江兼広 (下親田) [せせらぎ荘へ]

ゴミ焼却ドラム缶 = 新田利一 (平)

古切手たくさん = 匿名

正しくお早めに確定申告

申告相談日程

[相談場所: 役場別館老人の部屋]
 [相談時間: 午前9時から午後4時30分]

| 月 日 | 対象集落 | 持ち物 |
|----------|----------------------------|---|
| 2月16日(木) | 柏本・久須見 | ☆期限までに申告されないと加算税(金)などがかかります。指定日に都合の悪い人は他の日で結構です。お早めにお済ませ下さい。 ☆持ち物 ◎ 印鑑 ◎ 筆記用具 ◎ 各種証明書 ・保険料支払証明書 ・水稲被害証明書 ・医療費領収書 ・森林施業計画証明書 ・源泉徴収票 など ※2月28日の相談場所のみ商工会館ですので、お間違えないようお願いいたします。 |
| 17日(金) | 宮代・大沢・下野 | |
| 20日(月) | 曲坂・栃山 | |
| 21日(火) | 中谷・加舎尾 | |
| 22日(水) | 日向1～4班 | |
| 23日(木) | 日向5班 陰地1～3班 | |
| 24日(金) | 陰地4～6班 | |
| 27日(月) | 黒淵 | |
| 28日(火) | ※この日は税務署から通知のあった方のみを対象とします | |
| 3月1日(水) | 大明神 | |
| 2日(木) | 中通 | |
| 3日(金) | 上親田 | |
| 6日(月) | 下親田 | |
| 7日(火) | 神付 | |
| 8日(水) | 西洞 | |
| 9日(木) | 大口、平1～3班 | |
| 10日(金) | 平4～8班 | |
| 13日(月) | 平9～12班 | |
| 14日(火) | ※前日までに申告の済んでいない方 | |
| 15日(水) | 申告国税納付期限 | |

TOPICS

支援

少しでもお役に立てば
被災地に向け救援物資発送

「ドーンという音がしたと思ったら、寝ていたベッドからほうり出されて…。生きていたのが不思議なくらいでした」と話してくれたのは、平出身の関智可子さん。

去る一月十七日、兵庫県を中心に関西地区を襲ったマグニチュード七・二の直下型大地震、阪神大震災については、新聞、テレビ等で連日報道されていますが、関さんは、神戸市に次いで死傷者を出した西宮市に住んでおられ、自宅は倒壊、現在、平のご実家に身を寄せています。村では、こうした関さんのお困りの被災者の皆さんの役に立てばと、去る一月二十日、村の特産飲料である白川茶の缶茶千五百九十本とりんごジュース千三百二十本を被災地に向け発送。これら救援物資は、いったん県民生部が窓口となり、

県内の物資を取りまとめ送られました。また、皆さんからご協力いただいた義援金は、一月末現在、八六八件で五百十九万二千五十二円となりました。



りんごジュースの箱づめに追われる職員

発

その名も「アース」と「サンズ」
少年サッカーチーム結成

試合の勝ち負けにこだわらず、サッカーを長く愛し続けてくれる子どもたちを育てたい。このほど村に少年サッカーチームが結成されました。

村に一般のサッカー



1. 31 保護者会のようす

チームが結成されたことは、すでにお伝えしましたが、今回結成された少年サッカーチームは、小学校三年生から五年生までを対象としたジュニアチーム「東白川アース」と小学校六年生から中学校三年生までを対象にしたジュニアユースチーム「東白川サンズ」です。一月中に会員募集を行ったところ、アースには十九人、サンズには十七人の応募がありました。また、一月三十一日には保護者会が行われ、選手の保護者の皆さんとスタッフの皆さんとの趣旨説明や今後の練習内容、対外試合などについて話し合いがもたれるなど準備は万端です。今回の仕掛け役の一人、社会教育主事の田口等さんは「将来、この中から一人でもプロへ進む選手が出れば…」と夢を語ってくれました。

技術

「昔とったきねづか」
真綿むきで養蚕業見直しへ

「まだ、おけいこの段階やで販売なんてとてもとて…」と話して下さったのは、老人クラブ清楽会のみなさん。去る一月三十日、清楽会の皆さんなどが昨年末に完成した西洞の「せいらく荘」で「真綿むき」を行いました。

この真綿むきというのは、蚕が二匹で一つのまゆを作る、いわゆる「玉まゆ」を水につけ鍋で煮てアク抜きをしたうえで、まゆをむいてわくに張り干して真綿づくりをする作業です。

この日参加した皆さんは十二名。「家の屋根裏でほりをかぶっていましたよ」と以前使われていた、わくを持ち寄っておしゃべりしながら楽しい作業。見ていると、さすがは経験者ばかり、最初は「昔のようにはなかなかいきません」といいながらも実に手際良く作業は進んでいきました。

軽くて暖かいこの真綿。今でも布団をつくる際には使われていますが、かつては、冬の時期、服の裏側などに縫い付ける防寒具として活躍していました。



手際よく進められる真綿むき

話題集まれ!

安心

高齢化社会に向け
また一つ頼もしい施設

平成八年の三月完成を目標に、白川町坂の東の白川病院上隣に建設が進められている、特別養護老人ホームの起工式が、去る一月二十七日に行われました。

この施設

は、白川町と東白川村が共同で設立した社会福祉法人白泉会が主体となって建設するもの。約千坪の敷地に一部二階建てで、老人ホームやショートステイなどの機能を持つ予定です。名称は、特別養護老人ホーム「サンシャイン美濃白川」。老人ホーム部門には、ベッド数が五十床あり、その内人口の割合などから、優先的に村で十床の使用が可能となり、また、ショートステイ部門では、自分で身の回りのことができる人が対象となるせせらぎ荘の場合とは異なり、寝たきりなどの状態のお年寄りでも完全看護で短期入所できます。

家庭介護の充実は理想ですが、いろいろな事情で将来介護する身寄りがなく、寝たきりなどの状態になったお年寄りのための施設なのです。



期待

女性の感性を生かして
交流大使活動開始

「夜は寒いけど、考えていたほど田舎ではなかったですよ」と話してくれたのは広江加奈さん。この二月より村で、女性の感性を生かして魅力ある農山村づくりのお手伝いをしていただく森の交流大使のお二人が活動を開始しました。これは、県の「森の交流大使募集事業」で森林山村文化研究員に登録されたお二人を村が受け入れたもの。

「アウトドア活動が好きなので、こういう自然の豊かなところで働きたかった。もし、ご縁があればこういうところに嫁いでもいいと思っています。」と話す水谷理佳さん(右)は、四日市市のご出身。また岐阜女子大学四年生在学中で各務原市出身の広江加奈さん(左)は応募について「将来、外国人に日本語を教える日本語教員になりたいので、日本の良さを伝えるために応募しました」とのこと。

お二人は、二年間ふるさと企画の社員として、交流イベントの企画や特産品開発などの活動を行います。



森の交流大使として赴任した広江さん(左)と水谷さん

発表

「新しい村の名物になれば...」
鮎のみようが寿司を披露



鮎のみようが寿司の説明をする安江さん

新しい岐阜の味の開発を目指して県が実施している「大衆味おこし事業」。平成六年度にこの事業から誕生した料理の発表会「大衆味おこしぎふの味発表会」が、二月六日岐阜市の未来会館で行われ、村からは先月号でもお伝えした上親田の安江初子さんの「鮎のみようが寿司」が披露されました。

出展は、安江さんの作品のほか十一名。会場のレセプションホールには、各料理ごとに屋台が立ち並び、梶原県知事を始め県内外から観光マスコミ、旅行代理店などの関係者約二百人が招待者として参加。開発者の説明の後の試食では、安江さんの料理はあっという間に完売でした。

発表会を終えた安江さん「機会があれば物産販売や花フェスタなどで販売し、村の名物になれば...」と意欲的に話してくれました。



試食はあっという間に完売



成人式より

今月の笑顔さん

二月、梅月、春寒、節分。鬼の季節がやってきた。鬼は「あまり利口でない」ということになっている。

何とか家の中へ入ろうとして外でうろうろしていると、自分の顔を描いた紙がある、その下に十三の点と、★印がひとつついてある。

一月、二月、三月と点を数えて行くと、「おかしいな？、ひとつ余ってしまう…」となる。だから利口な人間としては閏年は逆に十二の点をしておかなければならない。

鬼にとっては☆の書き順も難題で、迷い、数え直しているうちに「鬼は外！」と豆に打たれて退散ということになるが、さて、近ごろの鬼は……

春は名をみの風の寒さよ。

みんなが公園…のよつたよへーじ

成人式を終えて

安江 未緒 (広島市)

一月十五日、私は成人式を迎えました。私はこの成人式がずっと楽しみでした。なつかしい友に会える事。その友とお酒が飲める事。初めての振袖が着られる事。東白川に帰れる事。

私は現在広島に住んでいます。こちらには、成人式も故郷に帰らないという友達もいます。そんな中で故郷に帰ることを楽しみにできる私は幸せだと思いました。最近のマスコミ等では頻繁に、いじめ問題の解決は、学校、家族、地域の三本柱が大切だといっています。私は今までこれらを意識しなかったほど、これら柱の愛情をあまりに自然に受けてきました。東白川はそういうところなんです。これからは、私自身がそんな柱の一部となり、両親、地域のみなさんにお返しをしていきたいと思えます。これが私の成人式に際して抱いた決意です。最後になりました



安江 未緒 さん

たが、式を用意していただいた方、ありがとうございます。素



職場から

島崎電機

「信頼が第一の資本です」と会社のモットーを話してくれたのは社長の島崎隆さん。今月は、陰地の

(有)島崎電機を訪ねました。

換気せんや扇風機など家電製品のモーター部品の製造を行うこの会社が、工場を加子母から廃校となった越原分校へ移したのは、十一年前。現在は、村内をはじめ加子母や付知から三十人を越える従業員の皆さんが働く大所帯です。

「内職のようなことから初めましたが、仕事が増え、規模拡大を考えているときに分校のことを聞き移りました。今は半数以上が東白川の人です。従業員をもう少し増やしたいと思っていますが、雇用問題はなかなか難しいですね」と島崎さんは話してくれました。



▶安江 快くん
(修治さん・ほずみさん
長男・下野)

このコーナーの子どもたちみな同い年。
10年後、20年後「広報」をみればホラ！
1歳のあの子の顔が……

20周年おしどり夫婦



今井末吉さん・さか江さん（大口）

一月末現在で、村内に六十五歳以上の夫婦だけの世帯が七十軒あります。
 今月は、二人きりでも元気に頑張っている大口の今井末吉さん、さか江さんご夫妻をお訪ねしました。
 今年八十九歳になるご主人と八十一歳になる奥さん。今年で連れ添って六十四年になるとか。

「別に不便と思うことはありませんし、特別健康に気をつけていることもありません。以前、子どもを亡くしておりますが、ここま

で長生きできたのは、その子どもが励ましてくれてい

るからかもしれないと

話すご主人に「二人とも好き嫌いはないし、一人で頑張っている人のことを思えばありがたいことです」と話すのは奥さん。

家のそばの畑で野菜づくりもされる元気なお二人の楽しみは、お子さんやお孫さんが訪ねてくれることです。「今度はいっ来るので話して行くのでその日が来るのが待遠しいです」と話してくれました。

今月のことば

昭和三十年代は、村の路線をめぐって青年団の弁論が盛んだった。今こそ、ああいった議論が欲しい

昭和三十年代は、村の路線をめぐって青年団の弁論が盛んだった。過疎よ止まれノと必死の神岡町山之村洞忠之さん

集落めぐり 中通

「かつての神土村東組のうちで、白川を挟んで真ん中に位置する地形であるところからその名称が生まれたものと推定される」「ふるさとのことば」より。

集落の位置がその地名の由来と考えられている中通地区。この地区は、横ばいや、減少傾向にある過疎状態の村内にあって、ここ数年の間に人口が増加している珍しい地域です。

平成元年に三十三世帯百二十人であった人口が平成六年十二月の調べでは、五十四世帯、百三十一人の人が暮らしています。急激に変化が現れたのは、平成三年以降。実は、この三年度四年度に、教職員の皆さんの集合住宅清流荘が二棟二十戸できたことによるものです。

理由はどうであれ、過疎化に悩む村の中では、「人口増」、「世帯増」という明るい話題のある地域でしょう。

図書室発・あなたへ



無印OL物語 群 ようこ著

今や女性も働く時代なんていわれて、よしがんばるぞノと意気込んで会社にはいったのはいいけれど、いざ仕事をすればお茶汲みにコピーの毎日。おまけに嫌みな上司に口うるさい先輩……。でも、そんなものに負けてなんかいられない！

おかしさあり、くやしきありのOLの日常を描いた物語。あなたにもこんな経験はありませんか。

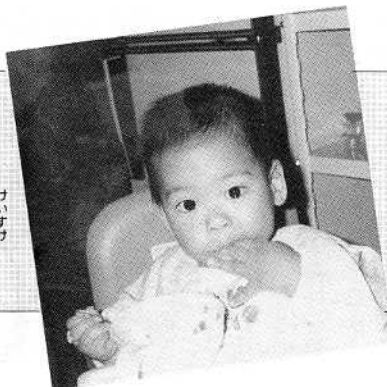
ホット・アングル



1月31日はなのき別館で、「味の館審査会」が開かれました。この審査会は、新しい特産品の開発を目的としたもので、この日はレトルト食品「鶏ちゃん丼」など四品目の試食をしました。二人そろって参加した森の交流大使からは「なかなか微妙なお味で…」と辛口の意見も出ていました。



磯村 圭介くん (和弘さん・昌枝さん 二男 日向)



わが家のスター

広報文芸
俳句

吉凶の月日を秘めて初曆
左義長の今年も減りし子等の数
穂芒のひれ伏す信濃路バスの旅
初詣の旅や三河の山丸し
おなじ酒おなじ話題で親子屠蘇
成人の孫正装で出陣す
神域の凍る石段はづむ息
青空へ雪の御嶽神々し
あれこれと独居の師走気忙し
すこやかに御霊と共に屠蘇祝ふ
寒の水五臓六腑に沁みわたる

日向 安江一滴水
栃山 安江 市助
加舎尾 新田 義男
栃山 桂川 喜郎
平 今井 統子
西洞 河田あや子

鎌研ぐや氷とけゆく日向水
着ぶくれて米寿めでたき老夫婦
餅搗いて家風に馴じむ養子かな
師走風南天の実何語る
旭寿の姑を囲みて屠蘇祝ふ
透き通る井戸水波みし初手水
初カレンター部屋毎飾る老の役
何時見ても亡夫の写真の菊見事
嗚呼阪神大震災
寒雨中被災の人燃ゆ煙かも
大震災次はいつこか月冴ゆる
前回をもって「狂俳」は終了させていただきます。
あなたも作品をお寄せください！初心者、とくに若い人たちの投稿を
歓迎します。奇数月の二十日までに神戸河田重喜宛に出して下さい。

日向 田口 秋映
加舎尾 今井 周一
平 安江 すみ
平 安江 すみよ
西洞 河田 重喜



こぼれ話
一月十七日
早朝の阪神大
震災は、想像
を絶する大被
害をもたらした。発生直後か
らのテレビの映像はその悲惨
な光景を刻々と映しだしてい
く。わずか十数秒間の揺れが
これだけ近代化された一都市
を発墟と化した現実には、今更
ながら自然の力を思い知らさ
れた感がある。▼発生後一ヶ
月近くなると主要な交通網や
ライフラインも何とか回復し
現在の映像もたくましく復興
していく姿が多くなった。そ
して、被災からの復興のなか
で見られた人と人との助け合
いや協力の姿が、ほのぼのと
映し出されていく。▼しかし、
阪神の人たちが元どおりの生
活に戻るまでには、まだまだ
気の遠くなるような歳月を要
するだろう。そんなそこから
考えると、今行われている支
援やボランティアも息の長い
ものになって欲しいと思う。
▼そして、復興と合わせて忘
れかけていたほほえましい人
間関係も、新しい街づくりの
中で大切になるだろう。(T)

発表わたしの作品



▲はなが「せつぶん」
五加保育園 ふるたしおりちゃん (柏本)
▲「へんてこロボット」
五加保育園やすえゆかりちゃん (柏本)

未来の夢



▲東白川小学校4年生
安江さくらさん
(上親田)

もちつき



▲東白川小学校3年生
桂川亜希さん
(日向)



▲「風景画」
東白川中学校1年生
斉藤 彩さん (日向)



▲「風景画」
東白川中学校1年生
古田 純平さん (西洞)

広報ひがししらかわ 2月号

95・2・15

発行/東白川村役場 0574(8)3111
岐阜県加茂郡東白川村神土548

編集/企画財政課 企画財政係
印刷/下呂印刷株式会社

再生紙を使用しています